

えんだより 卒園記念号

◇発行◇令和6年3月16日
 広島文教大学附属幼稚園 TEL (082) 814-4032
 FAX (082) 814-7206
 Eメール以 : fyuchien@h-bunkyo.ac.jp
 ホームページ : h-bunkyo.ac.jp/kindergarten

卒園児自画像



ご卒園おめでとうございます

子どもたちは、毎日、チャレンジタイムに、モンテッソーリ教育の5領域（日常生活訓練、感覚、数、言語、文化）の中から、自分のやりたいことを選び、繰り返し取り組み、自分を育てていきます。指先が育ち、さまざまな感覚が洗練され、数について知り、読み書きができるようになり……わかることやできることが増えていきます。その育った力を基にして、毎年A組が今年ならではのテーマを決めて、取り組みます。今年度は、「G7広島サミット」と「地球温暖化」でした。

「G7広島サミット」については、最初にG7とは……の話をしました。子どもたちにとっては、よくわからない、捉えどころのない内容です。知らない、解らないことはどうするかと問うと、「人に聞く」「調べる」と子どもたち。参加する7ヶ国について調べていくことになりました。自分は何の国を調べたいかを選び、7つのグループに分かれました。調べるための本を揃えました。興味が同じ仲間と、本をめくり、写真や絵を見入り、文字を読み、知ったことを、解ったことを、言葉にし、絵を描き、文字にしていきました。グループ内で、絵を描く人、字を書く人の役割を話し合って決め、活動が進みました。7つの国は、住んでいるところや話す言葉、食べ物、有名なものは違いますが、みんなと仲良くしたい、自然を大切にすることは同じ、『みんななかよし』とくりました。

3学期、「地球温暖化」についての本をたくさん揃えることができたため、子どもたちに投げかけました。G7の時と同じように、調べたいことを選び、グループになり調べていきました。絵本や図鑑から、地球が大変になっていることを知り、地球を守るために、自分たちができることを考えていきました。そして、一人一人ができることを宣言し、「できることから、やってみよう」とまとめました。

子どもたちには難しくないだろうか、解るのだろうかと思われることも、子どもたちは投げかけられると、子どもたちの理解で、目線で、考え、調べ、広げていきます。子どもたちの活動の様子から、改めて、子どもたちの秘めた無限の可能性と未来へ向けての希望の光を感じました。併せて、子どもだからと子どもたちの限界を大人が決めていることがたくさんあるかもしれないことを、反省しました。子どもたちを信じ、未来へ向けて、子どもたちが希望の光を放ち続けられるようにと願い、未来を託したいと思います。



令和5年度 第53回卒園児名

すぎの木組	くすの木組	ならの木組	もみの木組	かしの木組
河上 千隼 篠原 和花 杉村 茉里 戸谷 咲心 塗本 慶明 吉山 道翔	王下 花保 大中 廉斗 佐野 礼拓 菅原 和奏 是津 杏奈 田淵 芹樹 堂鼻 湊瑚 中村 友飛 林 徹平 横田 翔大	大坪 穂乃花 樫本 晴真 楠木 咲 雲地 栄斗 佐伯 希実 佐藤 礼鳳 新林 瑞月 松本 真奈 牟田 喜一 横田 湧大	小笠原 悠成 川崎 百々花 北村 純鈴 土井 美空 長岡 豪琉 濱田 一稀 平野 晃誠 藤井 暁斗 松岡 瑠南 六信 駿希	伊藤 瑞起 亀尾 千晴 光谷 祐利 重川 陽愛 田村 董 中洲 陽翔 西川 晏司 藤谷 因 南京極 春乃 迎川 颯哉

卒園記念品

備え付けのCDデッキ 一台
 持ち運びのCDデッキ 二台
 ありがとうございました。



令和5年度末 退職者のお知らせ

令和6年3月31日付で、中村先生と南原先生が退職されます。
 先生方のこれまでのご尽力に感謝すると共に、今後のご健康とご多幸を祈念いたします。